

# 平成30年度一般社団法人日本サステナブル建築協会事業報告

## 第1 運営に関する事項

### 1. 会員の状況

会員の種類		平成30年度末 会員数
正会員	個人	7人 (7)
	団体	25団体 (25)
	計	32 (32)

※ ( ) 内は前年度末の会員数

### 2. 会議の開催

#### (1) 総会 (平成30年5月25日)

「平成29年度事業報告及び決算」が承認され、「役員を選任」が行われ、「平成30年度事業計画及び収支予算」が報告された。

#### (2) 理事会

##### ① 第1回通常理事会 (平成30年5月16日)

「平成29年度事業報告(案)及び決算(案)」及び「平成30年度定時総会招集」が議決され、「平成30年度業務実施状況報告」が報告された。

##### ② 第2回臨時理事会 (平成30年5月25日) 定款第38条に基づく理事会の議決 「代表理事」の選任

##### ③ 第3回通常理事会 (平成31年3月22日)

「平成31年度事業計画及び収支予算」が議決され、平成30年度業務実施状況報告」が報告された。

## 第2 事業実施に関する事項

### 1. 住宅・建築物の省エネルギー性能の技術的検討

建築物省エネ法の円滑な普及に寄与するため、新たに開発される設備や建材等の省エネ性能評価法の検討、計算プログラムの運用方法の検討、一次エネルギー消費量計算法の実務的運用方法の反映、住宅の外皮要求水準の検討及び住宅・建築物の外皮性能評価の簡易化手法に関する検討等を実施した。

また、これらの検討を「WEBプログラム」等に反映した。

### 2. 建築環境総合性能評価システム（CASBEE）の開発整備

CASBEE 評価システムにおいて、CASBEE と SDGs の関係性を整理し、SDGs 達成に向けた貢献度を表す手法について検討した。

また、既存建築物において、評価方法の簡易化を図り、評価基準の改訂案を作成した。

### 3. 調査研究

#### (1) スマートウェルネス住宅に係る調査研究

##### ① スマートウェルネス住宅の研究開発

スマート化による住生活サービスのイノベーションとスリム化による住生活の高品質化について、シミュレーションを活用した室内環境と健康指標との関連性分析等の研究を実施し取りまとめた。

##### ② 居住環境変化による居住者の健康状況の変化等に関する調査

住宅の高性能化による居住環境改善が疾病予防、介護予防等にもたらす効果を明らかにするため、住宅の改修前後の温熱環境と居住者の健康状態に関するデータ収集を全国規模で継続して収集した。

(冬季分643件、夏季分50件)

#### (2) スマートウェルネスオフィスの調査研究

オフィスワーカーの安心・安全・快適性に基づくウェルネスの向上が、知的生産性を高めオフィスビルの不動産価値を向上させるとの観点から、「CASBEE-ウェルネスオフィス」及び「CASBEE-オフィス健康チェックリスト」を開発、公開した。

また、これらを普及展開していくために、認証の在り方について検討した。

### (3) LCCM 住宅の調査研究

デモンストレーション棟において太陽光発電、家庭用 CO<sub>2</sub> 冷媒電気ヒートポンプ、蓄電池を連携した場合の効率的な運用手法について検討を実施した。

また、デモンストレーション棟の改善工事に係る CO<sub>2</sub> 排出量の実測調査を行った。

※LCCM Life-Cycle Carbon-Minus

### 4. 建築物のエネルギー消費量データベース (DECC) の開発整備

政策立案や建物設計、建築物設備の運転管理等のための基礎データとして活用を図るため、公開済データベースに加え、近年竣工した建物、及び省エネルギー、低炭素化対策等を行っている高性能な建物を対象に、エネルギー消費量関連データを収集し、DECC データベースとして公開した。

(累積 44, 585 件)

※DECC Data-base for Energy Consumption of Commercial building

### 5. 省 CO<sub>2</sub> 建築物等の普及支援

「サステナブル建築物等先導事業 (省 CO<sub>2</sub> 先導型)」及び「既存建築物省エネルギー推進事業」の審査委員会の運営支援業務及び平成 29 年度事業地区に係る調査・分析を実施した。

### 6. 環境・省エネルギー関連施策に関する普及推進

(1) スマートウェルネス住宅等推進調査事業の成果をもとに、国土交通省において記者発表を行い、この内容について「住宅の断熱化と居住者の健康への影響に関する全国調査」第 3 回中間成果報告会を開催した。

(参加者 348 名)

(2) LCCM 住宅デモンストレーション棟において、2 回の見学会を実施した。

(参加者 81 名)

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金・預金	80,849,554	56,098,357	24,751,197
未収金	110,529,985	569,330,605	△ 458,800,620
流動資産合計	191,379,539	625,428,962	△ 434,049,423
2 固定資産			
特定資産			
建物	1	1	0
建物附属設備	2,413,420	2,832,510	△ 419,090
固定資産合計	2,413,421	2,832,511	△ 419,090
資産合計	193,792,960	628,261,473	△ 434,468,513
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	14,292,560	467,181,736	△ 452,889,176
預り金	675,579	4,794	670,785
流動負債合計	14,968,139	467,186,530	△ 452,218,391
負債合計	14,968,139	467,186,530	△ 452,218,391
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	2,413,421	2,832,511	△ 419,090
(うち特定資産への充当額)	(2,413,421)	(2,832,511)	(△419,090)
2 一般正味財産	176,411,400	158,242,432	18,168,968
正味財産合計	178,824,821	161,074,943	17,749,878
負債及び正味財産合計	193,792,960	628,261,473	△ 434,468,513